

道徳科学習指導案

学校名 三次市立甲奴小学校

指導者 中川 英子

- 1 日時 令和3年 9月14日(火) 第5校時
- 2 学年 第1学年 7名
- 3 主題名 親切な心で【内容項目 B 親切, 思いやり】
- 4 ねらい くまに親切にされたおおかみの変容を通して, 意地悪をしたときよりも, 親切にしたときのほうがずっと気持ちがいいことに気づき, 身近にいる人に親切にしようとする心情を育てる。
- 5 教材名 「はしのうえのおおかみ」 (しょうがくどうとく「いきるちから1」日本文教出版)
- 6 主題設定の理由

○児童観 本学級の児童は, 明るく友達同士の仲が良い。また, 人に優しくすることや, 親切にすることは, いいことであるということは知っている。しかし, 親切にすることの喜びや, そのよさを十分理解しているとは言えない。また, 時々, 言い方が厳しい児童にきつく言われて, 涙が出る児童もいる。「褒められるから」「大人が言うから」親切にするのではなく, 親切にすることで得られるよさについてしっかりと考え理解させ, 親切にしようとする心を育みたい。道徳の時間は, 気が付いたことや登場人物の気持ちをよく発表しているが, 道徳ノートやワークシートに書いて気持ちを考えたり分かったことをまとめたりということは, まだほとんど取り組めていない。また, 1学期は, 役割演技をしたことが無く, 今回の授業が初めての活動である。

i-checkの質問「思いやり(人間関係構築力)」「発信力」の結果は, 次の通りである。

質問項目	人数
困っている友達がいたら, 手伝ってあげますか。	7/7
友達とけんかした後, 自分から進んで仲直りができますか。	7/7
友達に元気がない時, 声をかけてあげますか。	7/7
友達がけんかを始めてしまった時, わけを聞いてけんかをやめるよう言えますか。	4/7

この結果から, 本学級の児童は, 困っている友達に優しくすることはよいことだと思っていることが分かる。しかし, けんかが始まってしまったら, 怖さのためか, 何も言うことができず見ているだけという面も持ち合わせていることが分かる。

○主題観 本主題は, 「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」B「主として人との関わりに関する事」の7「身近にいる人に温かい心で接し, 親切にすること」にあたる。自分のことばかり考えたり, 自分の思いだけを主張したりしては, 望ましい人間関係を構築することはできない。お互いが相手に対しての思いやりの心をもって, 親切に接することが不可欠である。親切にし, 相手の喜んだ姿を見たときの喜びは, 後ろめたさがなく, 意地悪をしたときの「おもしろさ」と違い, 心が温かくなり, そして, 晴れやかになるものである。児童にとって, 親切な行為をすることによって得られる喜びについて理解しよう

する気持ちを育てることは、人の喜びを自分の喜びと受け止め、人の心に寄り添うことができる温かな関わりを築いていくための基盤になるものである。

○指導観 指導に当たっては、動物たちに意地悪をするおおかみと、くまに親切にされたおおかみの心情に共感させ、両者を比べることから、「親切にすることのよさ」に気づかせ、さらに親切にしようとする心を育みたい。そのために、中心発問では、指導者がくま役になり、おおかみ役の児童に、くまに橋を渡してもらう場面を演じさせる役割演技を取り入れる。そして、ワークシートで全員におおかみの気持ちを考えさせる。書くことが苦手な児童には、友達の意見を参考にさせ、自分の思いをしっかりと書くことができるようにする。そして、友達など身近にいる人に広く目を向けて、温かい心で接し、親切にすることの大切さについて考えを深められるようにする。本時の学習をした後は、帰りの会で、親切にしていた友達を紹介し合い、親切にされた側の喜びや、親切にしたときの心地よさを感じ取らせる。また、友達に声をかけ合ったり、お互いの頑張りを認め合ったりしながら、学校行事「甲奴小フェスタ2021」を成功させたい。

7 児童に付けたい資質・能力

コミュニケーション能力	課題を発見し解決する力	乗り越える力
○ 友達の考えを聞いて、自分の思いを発表できる。	○ 登場人物の行いから、どのようにすれば友達同士が仲良くできるのか考えることができる。	○ 自分のことを振り返り、これから、友達とどのような関わりをもてばよいか分かったことが書ける。

8 準備物

場面絵、短冊、人物カード、ワークシート、児童の写真

9 本時の学習

(1) 授業の流れ

過程	児童の学習活動	主な発問と児童の心の動き	指導上の留意点等 ◆評価
導入	(1) 親切にしてもらった経験を発表する。	○ 親切にしてもらってうれしかったことはありますか。 ・「あそぼう。」と誘ってくれた。 ・消しゴムを拾ってくれた。 ・分からない勉強を教えてくれた。 ・けがをした時一緒に保健室に行ってくれた。	○親切とは、温かい心で優しくすることだと説明してから発問する。

	<p>(2) 教材「はしのうえのおおかみ」を聞いて考え、話し合う。</p>	<p>① すごすごと戻っていくうさぎに「えへん、へん。」と言いながら、おおかみはどんなことを考えていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たのしいなあ。 ・おもしろいな。 ・意地悪は、楽しいな。気持ちいいな。 ・おれは、強いぞ！ ・もっとやりたいな。 	<p>○「えへん、へん。」と、自分より小さい者や弱い者を見下しおもしろがって意地悪をするおおかみの心情を考えさせる。</p>
<p>展 開</p>	<p>(3) 親切にしたり，されたりしたときの気持ちを発表し合う。</p>	<p>② 大きなくまが渡ってきたとき、「どうぞ，おさきにわたってください。」と言ったのは，どんな気持ちからでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のほうが小さくて弱いから。 ・これは，かなわないと思ったから。 ・くまがこわいから。 <p>③ くまの後ろ姿を見ているおおかみは，どんな気持ちでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うれしいな。 ・くまさんはやさしいなあ。しんせつだなあ。 ・しんせつにされると，いいきもち。 ・ぼくは，いままでいじわるだった。 ・友達に親切にしたら，どんな気持ちかな。 ・友達に親切にしたら，仲良くなれるかな。 <p>↓（補助発問や切り返しによる価値の深まり）</p> <p>○人に優しくしたり親切にしたりするのは，気持ちが良い。</p> <p>○人に優しくできたり親切にできたりすると，自分も嬉しい。</p> <p>○これからは，親切にして生きていきたい。</p> <p>④ おおかみが，前よりずっといい気持ちになったのは，どうしてでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うさぎさんに優しくできて，うれしいから。 ・うさぎさんが喜んでくれているから。 ・くまさんみたいないいことができて，うれしくなったから。 <p>○ 親切にしたり，されたりしたとき，どんな気持ちになりましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうと言ってくれて，うれしくなった。 ・してもらったとき，優しいなあと思った。 ・どっちもうれしかった。 	<p>○おおかみよりも，さらに大きいくまであることを，確認してから考えさせる。</p> <p>○指導者がくま役，おおかみ役を児童に演じさせて，おおかみの気持ちを考えさせる。</p> <p>★親切にすることの喜びやよさに目を向け考えようとしているか。</p> <p>〈ワークシート・発言〉</p> <p>○「えへん、へん。」を初めと対比させ，おおかみの気持ちの変容を捉えさせる。</p> <p>○自分の経験を振り返らせ，そのときの気持ちを想起させる。</p> <p>○優しく接している児童の様子を映像で映す。</p>

【道徳的価値の自覚を深める指導になるために】
 —考えさせる道徳・議論する道徳—



行い 行動 (中心発問に関わって)	<ul style="list-style-type: none"> ・おおかみは、くまのうしろすがたをいつまでもみていました。
登場人物が 感じたこと 考えたこと	<ul style="list-style-type: none"> ○くまさん、とてもやさしい。 ○くまさんは、すごいなあ。 ○くまさんは、親切だ。 ○抱っこしてもらって、気持ち良かった。 ○こんなふうにして橋を渡るなんて、ぼくは思い付かなかった。 ○ぼくは、友達に意地悪ばかりしていた。 ○友達に優しくされると、いい気持ちになる。 ○友達に親切にしたら、どんな気持ちかな。 ○友達に親切にしたら、仲良くなれるかな。
道徳的価値 考え方や生き方 信念	<ul style="list-style-type: none"> ○人に優しくしたり親切にしたりするのは、気持ちがよい。 ○人に優しくできたり親切にできたりすると、自分も嬉しい。 ○人が喜ぶことや親切にすることは、意地悪や弱い者いじめよりも気持ちがよい。 ○これからは、「喜び」や「充実感」を感じられる「思いやり」や「親切」を大切にして生きていきたい。

